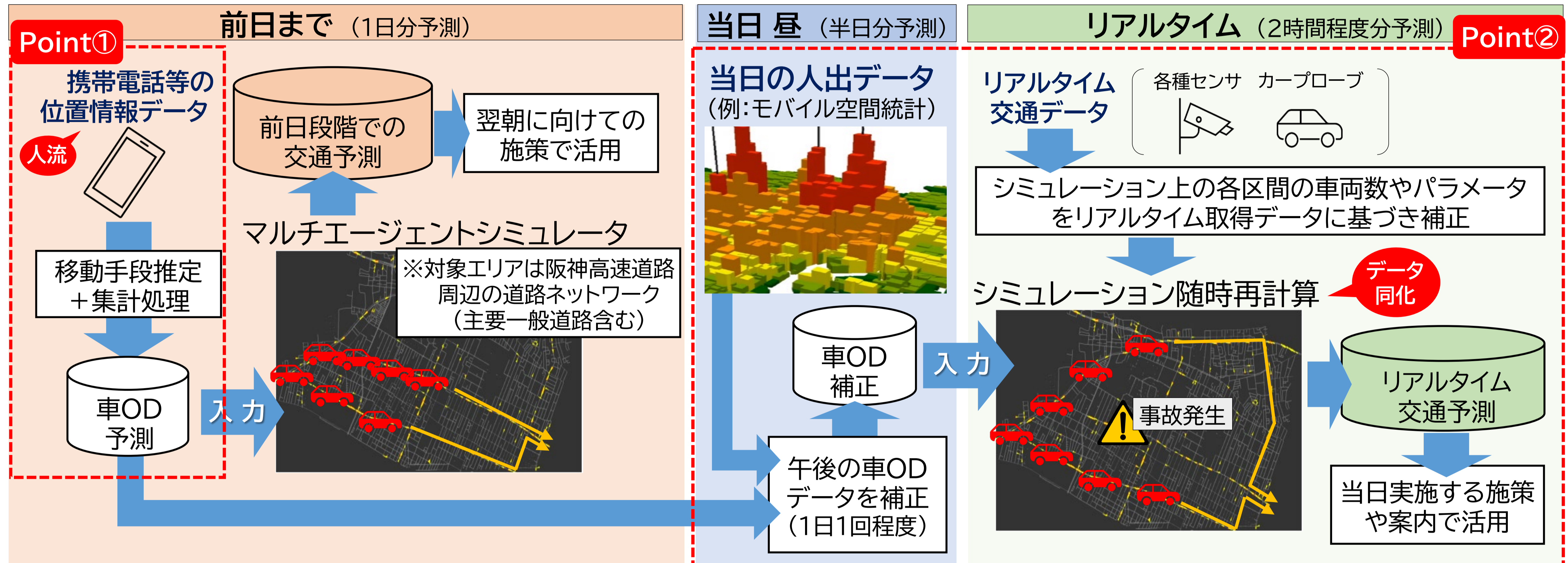


目的 人と交通のデジタルツインを活用した交通需要マネジメントの全体構想（要件、具現化、社会実装）や検討の着眼点等を整理
着眼点 交通工学と情報工学の知見・ノウハウを融合させた技術開発、個と全体の恩恵を両立させるマネジメント、サービスにおける質と量の連携

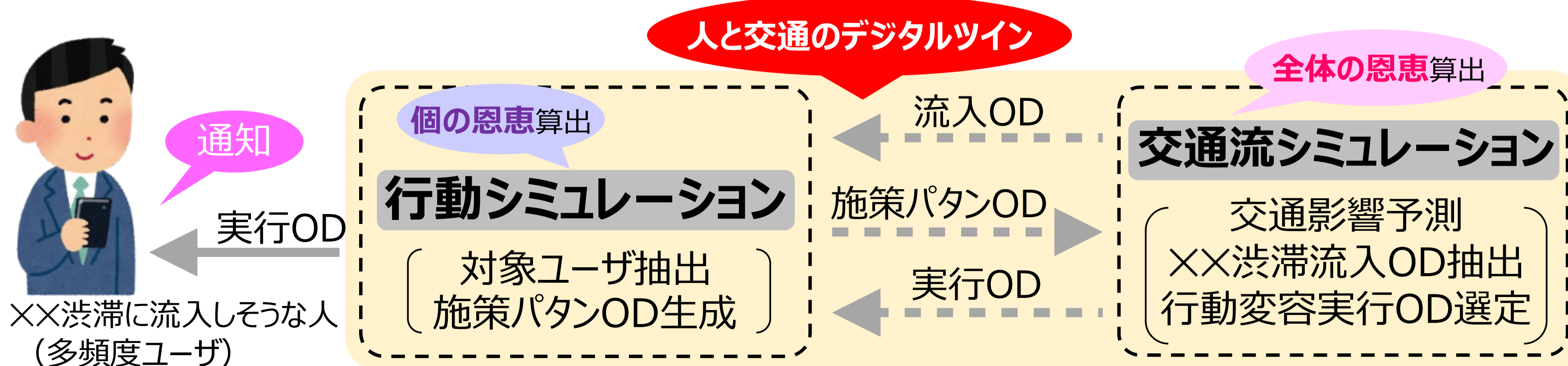
■要件：変動に対応した交通流シミュレーション

説明力のある交通工学のモデルをベースに、情報工学の知見を活かして変動に対応させた交通流シミュレーションを構想



■具現化：個に着目した行動変容施策の自動化

個の恩恵に基づく行動シミュレーションにより全体の恩恵を算出する交通流シミュレーションを活用して、個と全体の恩恵を両立させるマネジメントを具現化



■社会実装：マネジメントとして機能させるサービス

大規模会員サービスから移動支援サービスへの動線を創出し質と量が両立した一連のマネジメントサービスとして運用

